

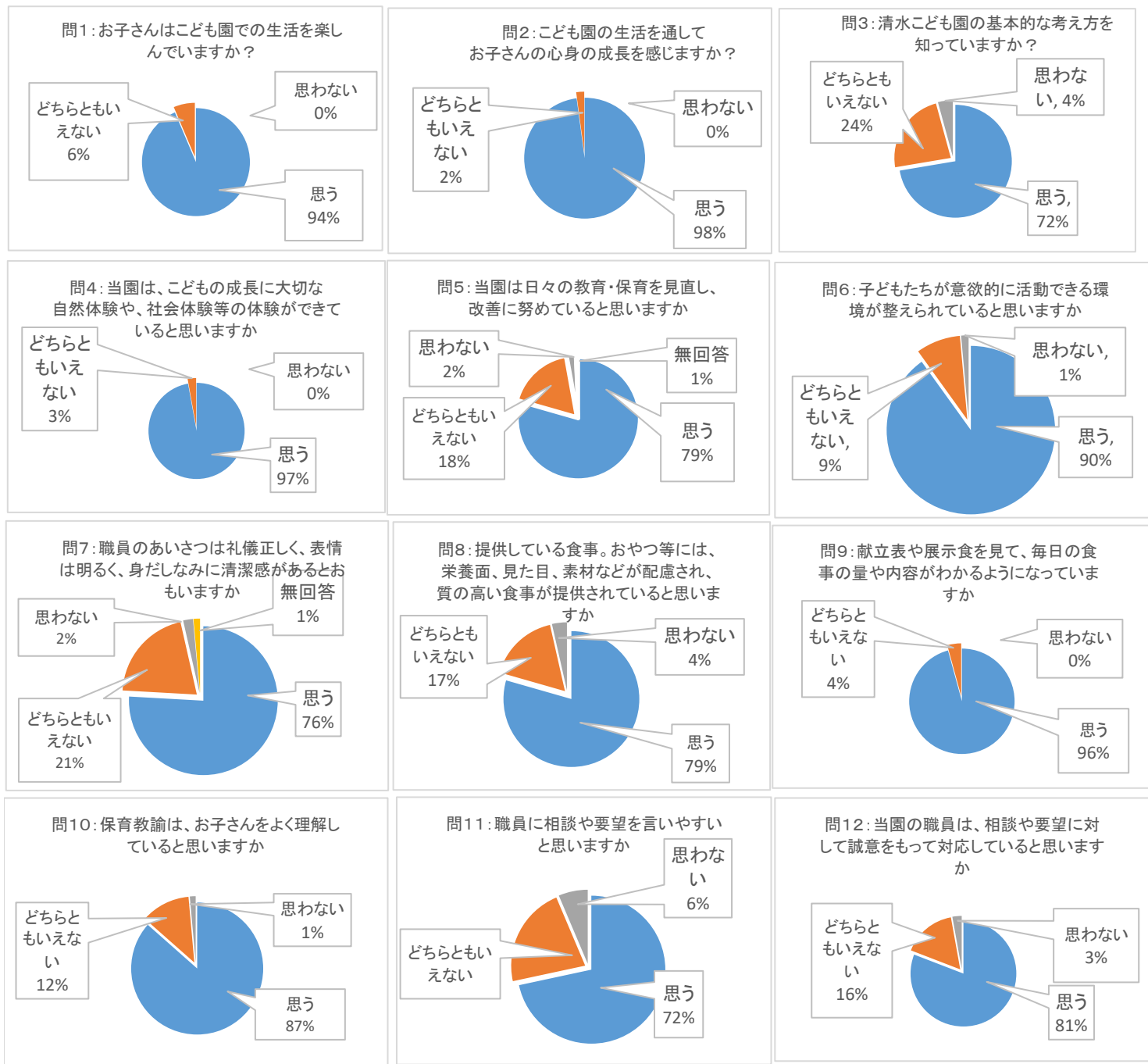
保護者アンケート結果報告

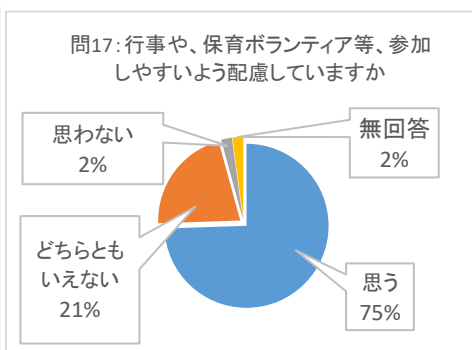
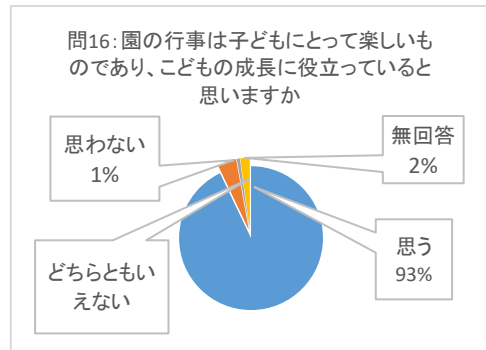
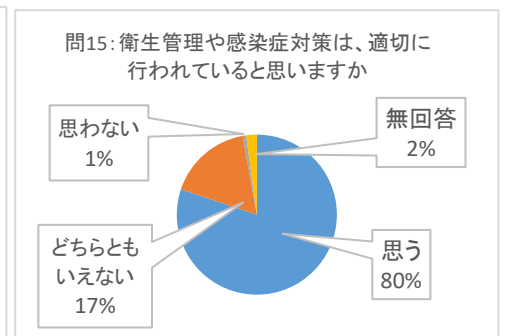
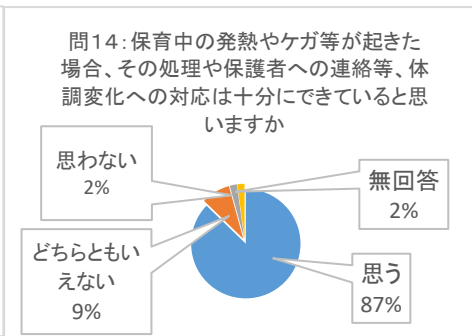
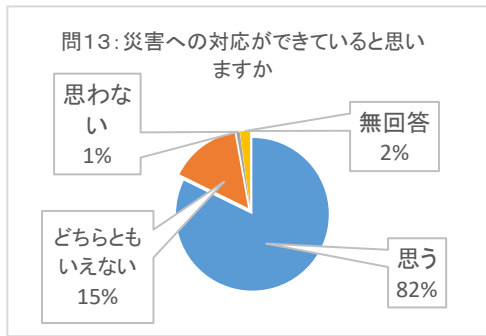
保護者の皆さまには、日頃よりこども園の活動においてご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 先日のアンケート結果がまとまりましたので、報告いたします。

配布世帯数 (161世帯)

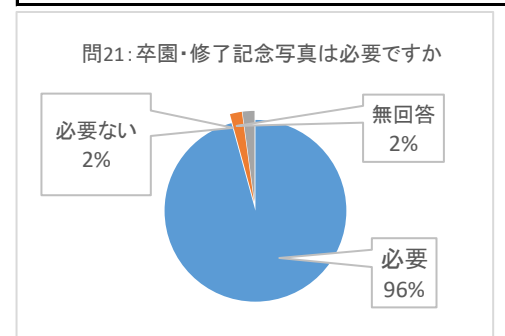
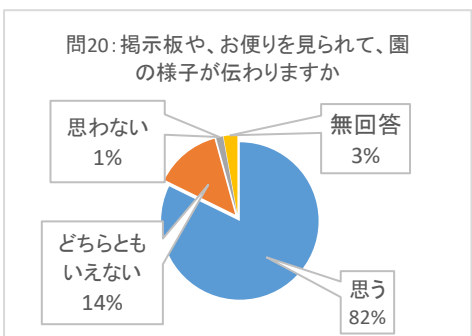
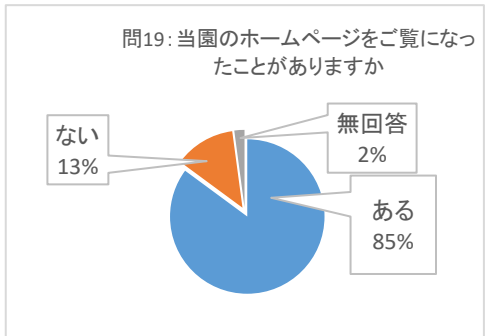
回答世帯数 (141世帯)

回収率 (87, 6%)





- 問18: 行事や活動の中で、良いと思われる取り組み、悪いと思われるものはありますか
- 【良い】
- ・自然体験活動や散歩 ・コスモスポーツ ・運動会
 - ・公開保育 ・お泊り保育 ・筑波山登山 ・夏の水遊び
 - ・季節の行事 ・徒歩遠足 ・縦割り保育 ・発表会
 - ・避難訓練 ・保育ボランティア ・ピラミッドメソッド
- 【悪い】
- ・奉仕作業 ・親子遠足 ・公開保育 ・生活発表
 - ・卒園遠足 ・コスモスポーツ ・コスモスポーツ
 - ・行事中止



【その他主なご意見、ご要望】

【自然体験活動について】

- ・のびのびと活動できるところが魅力的 ・自然との触れ合いが貴重な体験 ・ピーネイチャーの活動は続けてほしい。 ・山の中へ行ったりと清水らしさは素晴らしい
- ・朝、たまに行くのを渋る日もあるが、迎えに行くとき生き生きと遊んでいるのを見て、園での活動が子どもたちのキラキラを引き出しているんだと思う、今後も自然体験を中心に温かい保育をお願いしたい ・散歩が多く、子どもも楽しんでいるのが感じられる

【安全・衛生管理について】

- ・コロナ禍でも、感染対策や工夫、配慮をして行事を行え嬉しい ・質の高い保育を提供している ・試行錯誤しながら子どもの為に頑張っていることに感謝
- ・園を開けてくれて、仕事をしている親は助かった ・コロナ禍の中、見てくれ有難い
- ・安全、衛生管理の面について気になる、コロナの中での屋寝においてかなり密なのではないかと不安になる、子どもが使用しているロッカーを固定した方が良いのでは、地震の際に危ない

【行事について】

- ・子どもの笑顔が沢山見れる活動をどんどんしてほしい ・発表会があると嬉しい ・見学だけでなくお遊戯会など発表する場面があると嬉しい
- ・小中学校が活動をどんどんやめていく中、感染対策、努力、工夫でやってくれ、感謝している
- ・行事はなかなかできなかったが、友だち、先生と過ごせた事は、とても良い時間、物足りなさはあるが、園長、先生方に感謝、これからも素敵な園になりますように
- ・行事は休日に行ってほしい ・仕事があるので行事数が丁度良い ・保護者の方と会う機会がなかったので、コロナが落ち着き行事が行えるといい
- ・運動会縮小、公開保育の中止、発表会、行事がなくなってしまったことが残念、収まったら、沢山行事開催してほしい
- ・公開保育は参加型なのか、見るだけの物なのかよくわからなかった ・かるい夏祭りとかあったら親子で楽しめていい
- ・行事がなく、担任も11月から変わり、園での様子、担任と子どもの関係性があまりよくわからない ・園の様子が伝わらなかった

【縦割り保育について】

- ・子どもの自主性を伸ばす保育という先生方の負担も大きいと思うがしっかりみてくれて感謝している、途中から始まった縦割り保育で我が子の成長を感じている、常に子ども目線で園を改善していこうという姿勢がすばらしい
- ・縦割り保育で、年下の子に関心を持てるようになったが、縦割り保育をするタイミングが遅かった
- ・年度途中の、クラス変更はもう少し説明があると嬉しい、一年間かけて成長させていよう働きかけていると思っていた、担任とも面談を経て、相談、安心できるようになったので、年度途中でのクラス替えは寂しい、子どもは、柔軟なので新しい友だちと仲良くなり、成長を感じるが、当初は親が戸惑った、コロナでなければ説明会があったと思うが4月まで待てない意味や意義を教えてください
- ・毎日過ごすクラスは、年齢別にしてほしい、毎日が縦割りだと、仲良しの同学年の子が限られてしまうような気がする、

【その他】

- ・安心して送り出せている ・子どもから、園での出来事や友だちのこと等、色々話してくれるようになった、玄関に貼ってある行事や散歩の写真をみると嬉しそうに話してくれるので、写真展示は続けてほしい ・毎日元気に通っているのも先生方のおかげ ・些細なところまで見てもらったり、気遣ってもらい助かっている
- ・各保育室に活動内容や、子どもたちの様子が書いてあり読むのが楽しみ、帰宅の際、会話がはずみ、できることが増えていると成長を感じるのので有難い
- ・子どもたちを肯定している、考えさせてくれる、否定しない、真心こもった対応ありがとうございます ・子どもを預け、安心して働けるのも、保育士のおかげ
- ・色々相談ののってもらい感謝している、大人数の為、先生方の苦労は感じていた ・感謝している ・遅くまでの保育感謝している
- ・園で怪我をした場合、教えてもらい大変助かっている ・いつも明るい笑顔で出迎えてくれて元気をもらっている ・子どもはこども園楽しいと言っている
- ・先生方の挨拶は、いつも明るく大きな声、自分自身も元気にするよう心がけている、挨拶一つで印象が変わってしまうと気づかされ、子どもにも大切だと教えている
- ・悩みながら、色々なことを学び、成長しているんだと思う、友だちと上手いかなと言うこともあるがそれも勉強だと思い、背中を押している、暖かく見守ってくれ安心して任せることができる ・卒園、修了写真は欲しい、小さいサイズでもいい
- ・ハイ・チーズが高い、不便、写真も良くない、玄関に貼ってある写真は、子どもたちがしげんでほしい写真がある、買えたらいい
- ・友だちの名前を呼び捨てにしている、友だちによってバラバラ、園として統一しているのか ・名前を名字で呼ぶことを、子どもが気に入っている
- ・先生によっては、挨拶をしても返事がない、作業時こちらを見ずに返事だけ返されることがあり、残念に思う ・降園時にその日の様子を話してくれると嬉しい
- ・朝、帰りの挨拶をしっかりやってほしい、親と先生の挨拶になっている、まだきちんと挨拶ができない子ども、目を合わせて挨拶、そうして覚えていく、大事なこと
- ・パン屋さんが来てくれるのは嬉しいが、玄関に近すぎ購入したくないときもぐずるので、奥のほうにしてほしい
- ・家がテーマの月に、家の写真を撮ってもっていく課題は毎年負担 ・落ち着きがない、ランチの時間が自由で入学したら時間内に食べることが馴染めない
- ・メール等で、一日の様子がわかると良い、早番、遅番、バスを利用している人もクラスごとに記載してあるボードを確認できると思う
- ・毎日の出来事を教えてほしい、口頭でないなら、ノートに様子を書いてほしい ・HPのブログのパスワード、毎年周知してほしい
- ・親父の会の方々はよくしてくれて助かっている、休みが合えば参加したいが、親父の会とひとくりにされてしまうと参加しづらい、誰でも参加できる会にしてほしい
- ・わいわいの出入り口で、ソーシャルディスタンスの為開けていると、割り込み抜かされることが多々ある、順番待ちのライン等を作ってもらえると有難い
- ・予算の関係で運動会の景品が園児のみになったが、保護者の分はいらない、園児もシンプルな物でもいい、その分、感染症対策、日々の保育活動の充実にあててほしい、景品の選定、準備にかかる負担軽減、働き方改革の一助になるかと感じた、千歳飴は、無くてもいい、食べきれない、虫歯の原因にもなる

【園からのコメント】

- ・保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。
- 保護者の皆さまから頂戴した励ましのお言葉や、貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育・保育の改善に努めていきたいと思っております。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、4月5月の休園、楽しみにして頂いていた行事の中止や、縮小開催におきましてもご協力をいただき、有難うございました。今だ終息の見込みはなく、制限された状態は続きそうですが感染対策をしながら、日々の保育をしてまいりたいと思っております。

・年度途中で、始まった縦割り保育について、説明が足りない、始めるのが遅いというご指摘を頂戴しました。申し訳ありませんでした。
4月、5月と園が休園になったことで、新園児、進級児ともに、こども園で安心して過ごせるまで時間をかけました。運動会頃を堺に、自分に自信をつけ子どもたちは心身共にぐっと、成長が見られます。安心して過ごせるようになったこと、自信をもって生活ができるようになったことを実際に見て、縦割り保育を始めました。縦割りクラスですが、毎日11時からは年齢別になり友だち関係も更に広がります。年上の子は、年下の子に優しく、年下の子は、年上の子のまねをしながら、やってみようとしています。大人のアドバイスは聞かなくても、子ども同士の言うことは聞く、そんな姿に大人はちょっと嫉妬しますが、微笑ましく思います。そうして教えたり、教えられたりしながらお互いに成長しあっています。

- ・新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活を大きく変えてしまいました。けれども幸いなことに、乳幼児が感染して重症化することはまれなようです。毎日のようにメディアが取り上げているため不安が大きくなりがちですが、この感染症は近い将来(1~2年の内に)必ずインフルエンザと同じような対応になります。そのことよりむしろ、マスクの着用を基本とした「新しい生活様式」が、乳幼児の発達に与える影響の方が心配です。乳幼児は、相手の表情を見て感じながら、感受性を発達させ、相手の気持ちを理解できるようになります。またお互いに触れあうことで、感覚器官を発達させ、愛情や信頼、喜びや楽しさを感じるようになります。子育てしている間は、大人の目線で感染対応を考えるのではなく、子どもの気持ちや発達を考えてお子さんと接してほしいと思います。新型コロナウイルス感染症の非常事態は必ず終息します。でも子育ての大切な時間は、後から取り戻すことはできないということを心にとめておきましょう。

- ・発表会についての要望がありましたので説明いたします。かつては発表会で子どもたちがライオンキングを演じて盛大な発表会が開催されてきました。子どもたちにとっても、大勢の人前で自分の活躍をみてもらって、そのことが自信や誇りになり、クラスでは発表会ごっこが展開されることもありました。

けれども、園内では発表会に向けて数ヶ月にわたってその練習をくり返し、保育教諭は表舞台上で子どもが失敗しないように、ひたすら練習する毎日が続いていました。発表会のふり返りを通じて、「これは本当の保育なのだろうか。」「練習する時間を、もっと子どものためになる時間に使いたい。」という意見が多くなりました。確かに立派に演じる姿をみて保護者の方々が喜んでくれるのは、保育者にとっても微笑ましいことです。しかし、障がいをもったお子さんや泣き出して舞台から逃げ出そうとする子どもにとっては、トラウマになってしまうほどイヤな体験になってしまいます。このような理由から、清水こども園では、盛大な発表会を企画しないことになりました。演じながら空想をふくらませて表現することは、日常の保育でも行っていることです。各保育室にあるコーナーでは、毎日のように夢をふくらませたごっこ遊びが展開されています。そのような日常の保育をみてもらうために、新たに公開保育が実施されています。今年は新型コロナウイルス感染症の対応があり、実施することができなかったクラスもあり、残念に思っています。清水こども園では、常に子どもたちの立場に立って保育を考え、いろいろな工夫をしながら子どもの発達に即した保育・教育を実践しています。園の人気を集めるための盛大な行事よりも、毎日楽しく過ごせる日常を大切にしたい保育を理想としています。皆さまも、偽りの教育やメディアの吹聴に流されることなく、子どもにとって本当に大切なことは何なのかを考え、やり直しのできない子育てを楽しいものにしてほしいと願っています。